

## インターカレッジフォーラム 2024 in 奈良きたまち 実施報告



**事業名：インターカレッジフォーラム 2024 in 奈良きたまち**

開催期間：令和 6 年 4 月 20 日（土）から 8 月 9 日（金）

4 月 20 日（土） 9：45-15：00／オリエンテーション・まち歩き

4 月下旬～6 月上旬／各大学での授業・現地調査・ヒアリング

6 月 8 日（土） 14：00-16：00／中間発表

6 月中旬～8 月上旬／各大学での授業・現地調査・ヒアリング

### 成果発表会

日時：令和 6 年 8 月 9 日（金） 13：00～16：30

場所：奈良公園バスターミナル レクチャーホール

参加人数：合計 98 人（発表学生 4 大学 34 人、一般来場者 42 人、関係者 18 人、審査員 4 人）

審査員：大阪市立住まいのミュージアム（大阪くらしの今昔館）館長 審査員長 増井 正哉氏

鼓阪地区自治連合会副会長 有山 行基氏

佐保地区自治連合会会長 岡崎 忠直氏

奈良市 観光経済部長 栗山 稔

共催：畿央大学、天理大学社会教育学科、同志社女子大学生生活科学部人間生活学科都市計画研究室、  
奈良学園大学、奈良県立大学、奈良女子大学生生活環境学部住環境学科、  
鍋屋連絡所の保存・活用と“奈良きたまち”のまちづくりを考える会（なべかつ）、  
転害門前旧銀行建物活用協議会（てんかつ）、きたまちコンセント、奈良市

## 審査結果

### 最優秀賞

#### 転害門前旧銀行建物活用協議会賞

大和ならきたまちチーム（奈良学園大学）

「過去・現在・未来を結ぶ「奈良きたまちの郷土かるた」

ー子どもたちに伝えたい「きたまち」の魅力ー」

### 奈良市賞

都市計画研究室（同志社女子大学）

「みんなの居場所きたまち ～きたまち lover を増やしたい～」

### 鼓阪地区自治連合会賞

きたまちづくり（畿央大学）

「きたまちでくらそう」

### 佐保地区自治連合会賞

motto きたまち応援団（奈良県立大学）

「子供と中・高齢層の多世代「共存」の場としてのきたまち「街区公園」再考」

### 鍋屋連絡所の保存・活用と奈良きたまちのまちづくりを考える会賞

みんなで守るまちの資産（畿央大学）

「奈良きたまちの歴史資産の魅力再発見」

### きたまちコンセント賞

路地裏物語（畿央大学）

「路地裏の魅力」

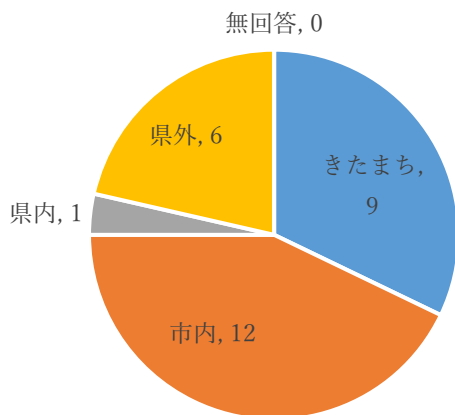
※最優秀賞以外の各団体による賞は順不同

## 来場者アンケート結果

回答数 28 人

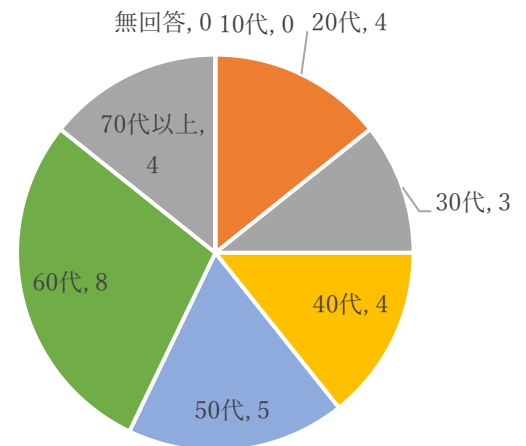
設問1 あなたのお住まいはどちらですか。

- 1、きたまちエリア（近鉄奈良駅以北の旧市街地）  
2、奈良市内 3、奈良県内 4、奈良県外  
（回答者数 28 人）



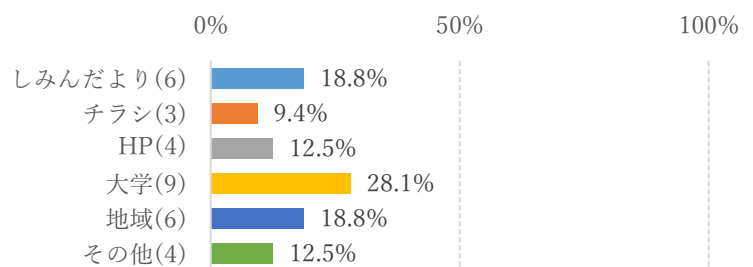
設問2 あなたの年齢を教えてください。

- 1、10代 2、20代 3、30代 4、40代  
5、50代 6、60代 7、70代以上  
（回答者数 28 人）



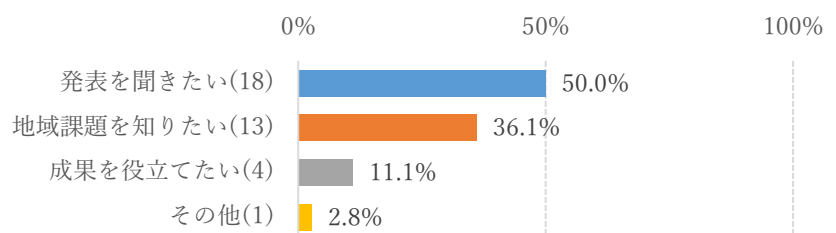
設問3 「インターカレッジフォーラム in 奈良きたまち」は、何で知りましたか。（複数回答可）

- 1、しみんだより  
2、チラシ  
3、ホームページ  
4、大学  
5、地域の団体  
6、その他  
（回答者数 28 人）



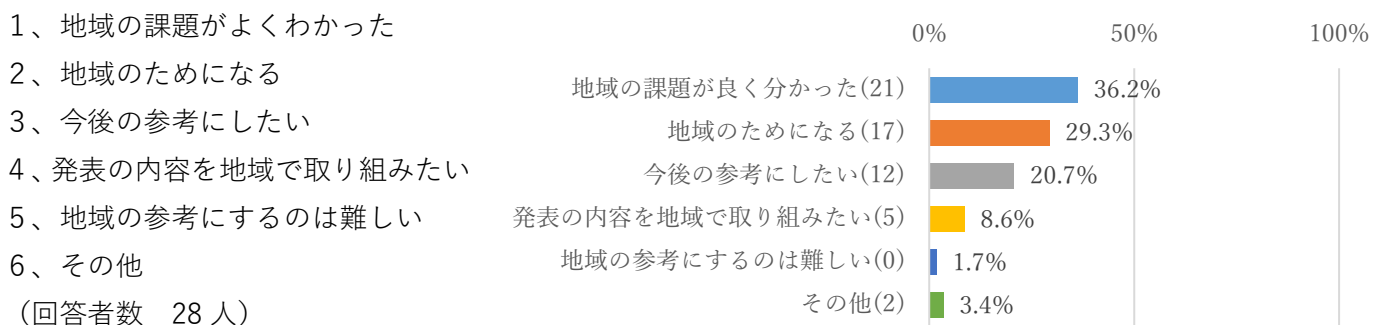
設問4 来場の目的を教えてください。（複数回答可）

- 1、学生の発表を聞きたい  
2、奈良きたまちの地域課題を知りたい  
3、発表の成果を地域で役立てたい  
4、その他  
（回答者数 28 人）



設問 5 学生の発表についてどう思いましたか。

(複数回答可)

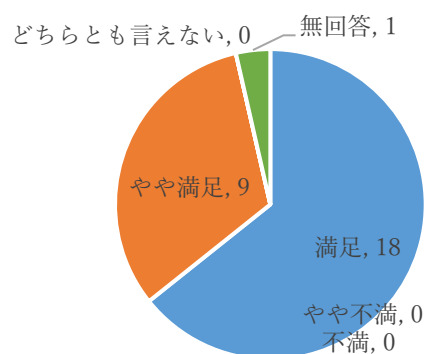


その他 (自由記述)

- ・提言を継続的な取り組みに発展させてもらえればより有意義なものになると感じました。

設問 6 学生が地域課題に取り組み、その成果を発表するこの企画についてどう思いますか。

- 満足
  - やや満足
  - どちらとも言えない
  - やや不満
  - 不満
- (回答者数 28 人)



理由 (自由記述)

- ・若い方の視点での提案は、新たな発見、気づきになり、地域の活性化の役に立つと思います。
- ・学生主役なのがいい。去年も来て発表だけで終わってしまうのがもったいないと思っていて、今年は、実際にモノとして製作された成果物も沢山あったので良かったです。

設問 7 来年度に取り組んでほしいと思う地域課題 (どの地域でどのような課題があると感じているか等) があれば教えてください。(自由記述)

- ・施設の保全の費用確保や、きたまちでビジネスが成り立つための取り組みなどのアイデア。
- ・自治会等地縁組織と学生との協働継続性について。
- ・東大寺等に一極集中する観光客をきたまちエリアに誘導するアイデア。
- ・きたまちに住む人を増やすための提案。
- ・空き家の利活用。